

1. 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 年間学習計画と単元(題材)

月	単元名	内 容	達成目標(ねらい)
4 5 6	運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動 ・力のはたらき方 ・エネルギーと仕事 	<ul style="list-style-type: none"> ・力や物体の運動についての観察・実験を行い、運動の規則性や関係性を考察する。 ・物体にはたらく力と物体の運動の関係を理解し、実験の技能を身に付ける。 ・運動とエネルギーについて実験を行い、力学的エネルギーについて理解する。
7 9 10	生命の連続性	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の成長と生殖 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の多様性と進化 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の成長とふえ方の特徴について理解する。 ・遺伝の規則性と遺伝子について実習を行い、結果を分析する。 ・生物の多様性と進化について進んで関わり、探究しようとする。
10 11 12 1	地球と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の運動と天体の動き ・月と金星の見え方 ・宇宙の広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ・日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念を理解する。 ・月や金星の運動と見え方についての基本的な概念を理解する。 ・惑星と恒星についての基本的な概念を理解する。
4 ～ 12	化学変化とイオン	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液とイオン ・酸、アルカリとイオン ・化学変化と電池 	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液とイオンの関係を理解し、イオンのでき方について理解する。 ・酸とアルカリの特性を理解するとともにそれらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電池の基本的なしくみを理解し、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを理解する。
12 1 2 3	地球と私たちの未来のために	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中の生物 ・自然環境の調査と保全 ・科学技術と人間 ・持続可能な社会をつくるために 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関連付けながら、自然界のつり合いについて理解する。 ・自然環境の保全のあり方について、科学的に考察する力を身に付ける。 ・人間は様々なエネルギーを得ていることを理解し、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを理解する。 ・物質の有効な利用が大切であることを意識させる。

3. 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・課題への取り組み ・実験観察レポート ・定期考査 ・小テスト
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	・課題への取り組み ・実験観察レポート ・定期考査 ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・課題への取り組み ・実験観察レポート ・振り返りシート

4. 授業の取り組みについてのアドバイス

(1) 日々の授業について

- ①忘れ物がないようにしましょう。
- ②ノートは、後で見直したときに見やすいように書きましょう。
- ③積極的に考えたり、発言したり、図や文章で表現したりしましょう。

(2) 実験・観察について

- ①理科室の使い方、実験器具の使い方を守りましょう。
- ②共同実験者と協力して取り組みましょう。
- ③方法や目的を理解したうえで、観察・実験に取り組みましょう。
- ④観察・実験の記録をとり、結果から分かることを考えて表現しましょう。

5. 家庭学習について

(1) 復習

- ①その日の授業で使ったノート、プリント、教科書などをもう一度読み、授業の内容を思い出しましょう。
- ②特に重要な内容は、その日のうちに覚えましょう。
- ③時間が経って忘れた頃に再び復習し、何度も繰り返すことで、少しずつ身に付けていきましょう。
- ④余裕があれば、要点をまとめたノートを作ってみましょう。

(2) 宿題

- ①宿題に取り組むことで、自分自身で定着度を把握しましょう。
- ②忘れていたこと、分からないこと、難しいことはノートや教科書で調べましょう。
- ③分からないと思いついてしまわないで、できるところに取り組みましょう。

6. 定期テスト前や入試に向けての取り組みについて

(1) 定期テスト前の取り組みについて

- ①誰でも、習ったことを忘れます。忘れた頃に復習をすることが効果的です。
- ②習ったことの確認（記憶のインプット）ができたなら、問題を解く練習（記憶のアウトプット）をしましょう。

(2) 入試に向けての取り組みについて

- ①いま学校で勉強している3年生の内容をしっかり定着させることが大切です。
(いま努力しておく、入試前に3年生の内容を思い出すのにかかる時間を短縮することができます。)
- ②1、2年生の復習にも少しずつ取り組みましょう。特に、学校の授業が無い夏休みや連休の期間は1、2年生の復習のための時間を確保しやすいです。

7. 苦手な人へのアドバイス

- (1) 教科書の太字の語句や、「ここがポイント」を中心に復習しましょう。
- (2) 教科書には各単元の最後に「学習内容の整理」のページがあります。要点がまとめてあります。